

令和3年度外務大臣表彰

令和3年8月20日、日本政府は、令和3年度外務大臣表彰の受賞者を発表しました。当国ではアルメニア・日本科学教育文化センター「ヒカリ」及びアルメニア・日本教育・文化交流センター「いろは」の2団体が受賞し、令和4年6月8日及び9日に福島大使より表彰状が授与されました。

外務大臣表彰は、国際関係の様々な分野で活躍し、日本と諸外国との友好親善関係の増進に特に顕著な功績のあった個人及び団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する日本国民の理解と支持を一層深めることを目的としています。

「ヒカリ」センター(代表:カリネ・ピリポシヤン氏)は、日本文化に関心のある個人や団体に交流の場を提供することを目的に、2009年に設立されました。青少年等を対象とした折り紙教室や四季に合わせた日本文化行事等(ひな祭り、七夕等)を定期的に行い、アルメニアにおける日本文化紹介に大きな役割を果たしています。この度、日本文化の普及を通じた両国間の相互理解促進への貢献が称えられ、外務大臣表彰を受賞する運びとなりました。

「いろは」センター(代表:ルザン・ホジキヤン氏)は、民間の日本語教育機関として2014年に設立されました。アルメニアの民間機関で唯一日本人講師を有し、同センターの日本語講座の受講生の中から日本語能力試験合格者が多数輩出される等、アルメニアにおける日本語の普及・日本語能力の向上に大きな役割を果たしています。この度、日本語教育の推進を通じた両国間の相互理解促進への貢献が称えられ、外務大臣表彰を受賞する運びとなりました。

「ヒカリ」センター



「いろは」センター

